



No.108

2018.9.25

兵庫県立神戸商業高校

図書館

新着図書紹介

夏休み前に借いた本 み～んな返してね

読めなかった本は、延長することもできるから、必ず図書館に来てくださいね。
図書館の外に置いてある赤い返却BOXに入れておいてもOK!ですよ。

(リ):リクエストされた図書



「10代からのプログラミング教室」 矢沢久雄

いま無いモノも、きみの技術で作れるかもしれない。そんな力を身につけるための第一歩!

「きれいな色とことば」

おーなり由子

ことばと絵の贈りもの。

「西郷どん 前編」

NHK大河ドラマガイド

島津斉彬との出会いをきっかけに、西郷隆盛は時代の荒波にのまれていく。

「西郷どん 後篇」 目標と希望を

失った西郷に、島での暮らしが生きる力と愛を与える。

アニメ「ちびまる子ちゃん」などで人気の漫画家さくらももこさんが、8月に亡くなりました。本校所蔵の関連図書を並べていますので、懐かしく手にとってみてはどうでしょうか?

今回、高井先生もさくらももこさんの作品について書いてくださっています。

- 「もものかんづめ」 「たいのおかしら」
- 「さるのこしかけ」 「まる子だった」
- 「あのころ」 「さくら日和」
- 「ひとりづもう」 「富士山 1. 2. 3」
- 「ももこのいきもの図鑑」
- 「ももこの世界あっちこっちめぐり」
- 「ももこの21世紀日記」

「失楽園のイヴ」 藤本ひとみ

～KZU KZ Upper File～フランスのワイン蔵で怪死を遂げた日本人教授。そのゼミから帰国した美人醸造家の野望とは一。(リ)

「美容師・理容師になるには」 大岳美帆

美容師と理容師の活躍を紹介!適性や心構え。美容師・理容師になるための道のりも解説。

「バナの戦争」 バナ・アベド

～ツイートで世界を変えた7歳少女の物語～「今夜、わたしは死んじゃうかもしれない」爆弾の雨の下から、シリアの少女は戦争の現実を伝え続けた

「読書という荒野」 見城誠

読書によって正確な言葉と自己検証はもたらされ、正確な言葉と自己検証によって深い思考になる。

「365日のほん」 辻山良雄

本屋さんが紹介するこれからの新しいスタンダード、365冊。『出合ったときが、その人にとっての新刊だ』。

「**新聞記者**」 望月衣塑子

『だれも聞かないなら、私が聞くしかない』

「**集中力はいらぬ**」 森博嗣

だらだらするからうまくいく！

「**18分集中法**」 菅野仁

～時間の『質』を高める～18分集中法を使えば、
たちどころに仕事が処理できるようになる。

「**図説ウィーンの歴史**」 増谷英樹

ハプスブルクの帝都、音楽の都だけではない、ウ
ィーン史を知るための決定版。

「**図説ヨーロッパの王朝**」

加藤雅彦

王朝時代の歴史ドラマや華麗な遺産を国別に網羅。
ヨーロッパの歴史は『王朝』なしには語れない。

「**パレスチナを知るための
60章**」 白杵陽

パレスチナという国家は、まだ存在していない。
136カ国がパレスチナを国家として承認してい
る（2015年時点）。アメリカ、イギリス、フラ
ンスは認めていない。

「**仕事家族**」 筒井淳也

—日本はなぜ働きづらく、産みにくいのか—「働
き方改革」「女性活躍」のため、本当にすべきこと。

「**超独学法**」 野口悠紀雄

～AI時代の新しい働き方へ～どんなジャンルも
独学できる最先端かつ最強の勉強メソッドを公開

「**理系という生き方**」 最相葉月

～科学者の生き方にみる、思考のヒント～『定説』
と違うことをやってみる。その勇気が新たな道を
切り開く。

「**はじめて地理学**」 富田啓介

～身近なところから地球の『なぜ』を解き明かす。
地理学を学ぶと、いつもの景色が違って見える！

「**発達障害**」 岩波明

他人の気持ちがわからない、同じ失敗を繰り返す、
極端なこだわり……。ASD、ADHD、アスペ
ルガーの謎に迫る！

「**城の科学**」 萩原さちこ

—個性豊かな天守の『超』技術— 国宝に指定さ
れている姫路城、松本城などを中心に、その構造
や素材、装飾を解説していきます。

「**弟は僕のヒーロー**」

ジャコモ・マッツァリオール

僕、ジャコモ 19歳。弟、ジョヴァンニ、13歳。
僕の弟はダウン症。

「**ハーフ&スパイス事典**」

伊藤進吾

～心とカラダにやさしい316種～

「**羽生善治の将棋辞典**」 羽生善治

戦法、専門用語、格言・・・ジャンルごとに用語
の意味が、より早く、より正確にわかる。

新ぶらり選書（4） 高井先生

『**もものかんづめ**』

さくらももこ：著（集英社，1991）

『ちびまる子ちゃん』でお馴染みのさくらもも
こさんのエッセイです。夏休みに突然の訃報を耳
にした人も多いと思います。それもあってか最近
話題にのぼることがあったので紹介しようと思
います。

みなさんもよくご存じの『ちびまる子ちゃん』
は作者の小学校時代を描いた作品です。この『も
ものかんづめ』というエッセイも舞台は作者の周
り、特に小学校時代がおもしろいです。話のテン
ポがよく、小学生ならではの大事件（大人にすれ
ばたいしたことではないのですが・・・）に対す
るアニメでもお馴染みのシュールなツッコミに思
わず笑ってしまいます。

どの話も特に考えずに肩の力を抜いて読めるよ
うなものです。自分が小学生の時に流行した本な
ので、読んだのは中学生になってからだったと思
います。みなさんでも気軽に読めますので、夏休
み明けでなんとなくな～く疲れている人はクスッと笑
って元気になってください。

ちなみにこの『もものかんづめ』は『さるのこ
しかけ』、『たいのおかしら』と三部作のようにセ
ットで紹介されています。他にもさくらももこさ
んのエッセイはいろいろ出ていますよ。